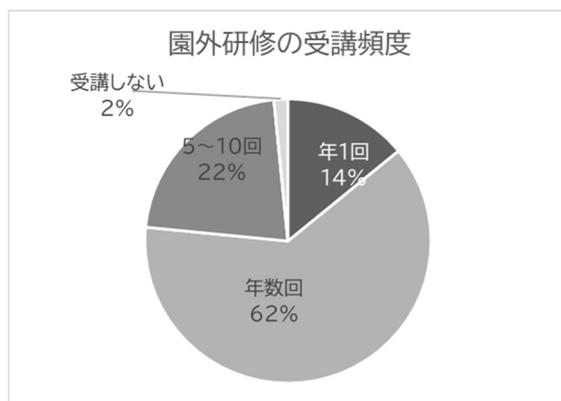


令和4年度 施設実態調査結果（幼児教育部分抜粋） 《幼稚園・幼稚園型認定こども園》

※有効回答数64

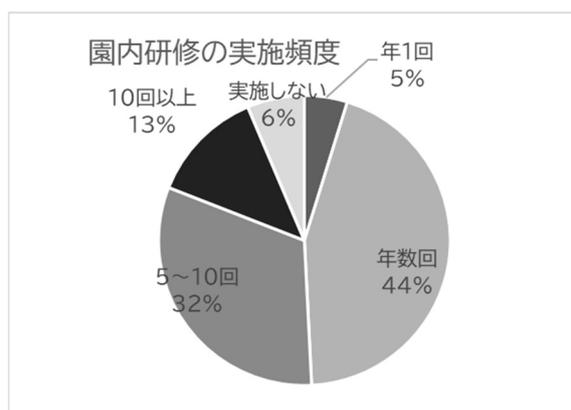
(1) 園外研修の受講頻度

一人当たりの園外研修の受講頻度は年数回の施設が6割程度あったが、受講しない園も一定数あった。



(2) 園内研修の実施頻度

園内研修の実施頻度は、実施していない園から年間10回以上実施する園まで、その頻度も様々であった。



(3) (4) (5) 公開保育の実施状況等

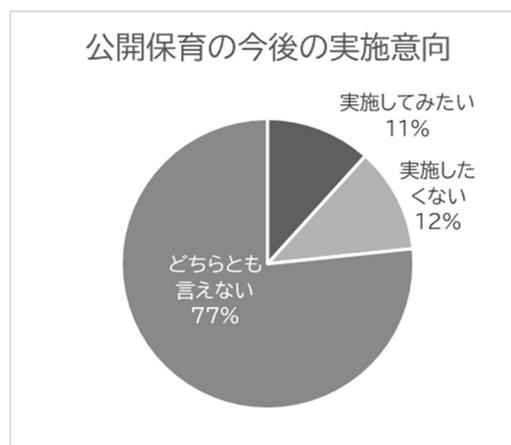
○令和4年度に、公開保育を実施した園は、5カ所あった。

○実施園は、いずれも「ア とても有意義だったのでまた実施したい」という意向である。

(参考) 回答選択肢

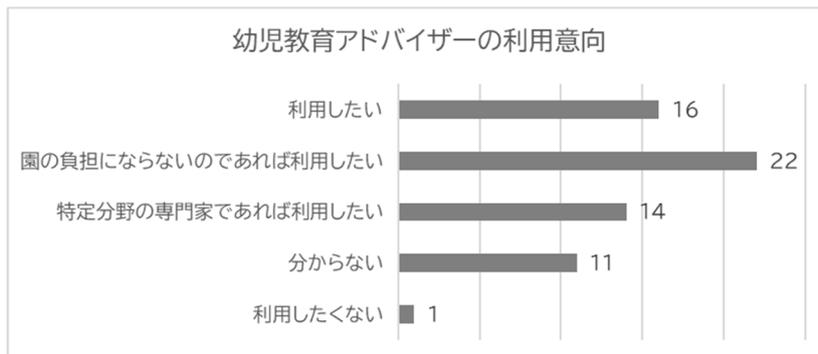
ア	とても有意義だったので、また実施したい
イ	準備等が大変だったので、実施したくない
ウ	あまり効果が無かったので、実施したくない

○今年度実施していない園に対し、今後の実施意向を尋ねたところ、実施してみたいと回答した園と実施したくないと回答した園がほぼ同数であった。どちらとも言えないという回答が3/4を占めた。



(6) 幼児教育アドバイザーの利用意向

幼児教育アドバイザーが県や市町に設置されたら、利用したいか、その意向を尋ねたところ、以下のとおりであった。

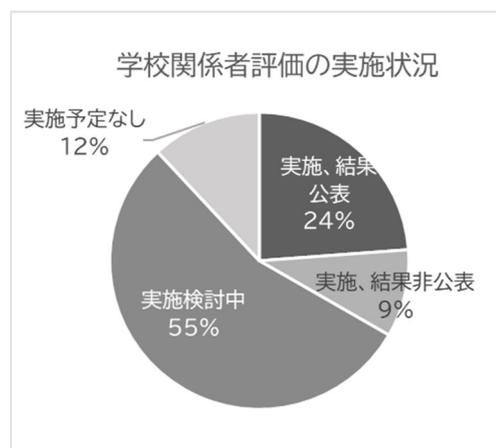
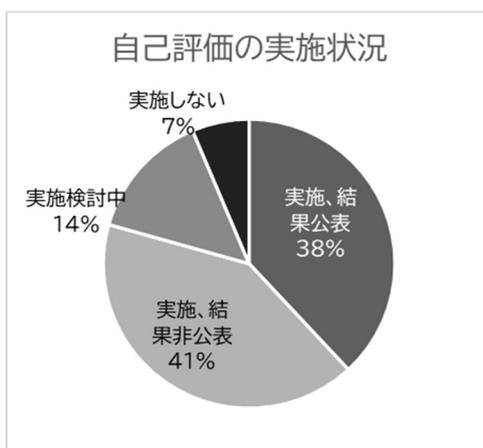


なお、特定分野を選択した園の希望分野は、特別支援教育（障害児保育）がほとんどで、保護者支援も一部あった。

(7) (8) 「自己評価」の実施状況と「学校関係者評価」の実施状況

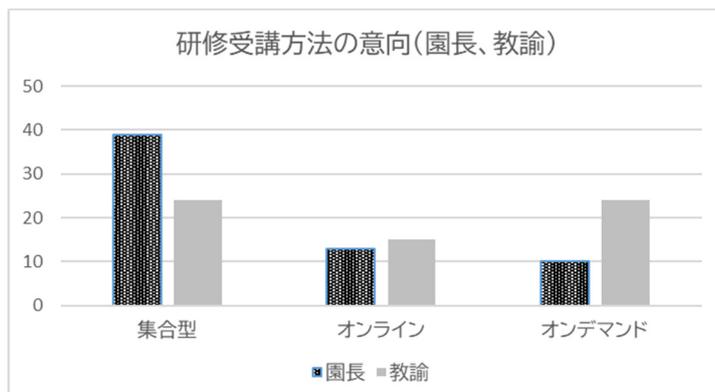
自己評価を実施している園は、約 8 割そのうち公表している園が約半数であった。

学校関係者評価の実施については、実施している園は 1/3 であった。



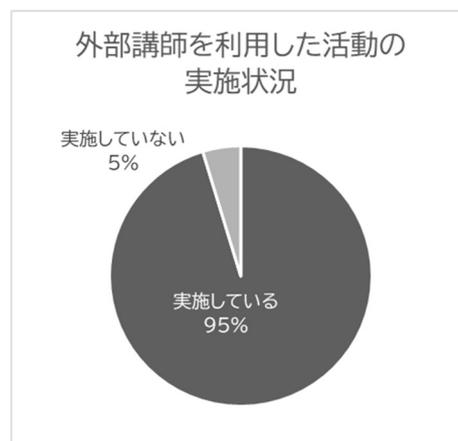
(9) 研修の受講方法（集合型、オンライン等）

研修の好ましいと考える受講方法について、園長と教諭それぞれの考えを聞いた。ここ数年、あまり実施できていなかった集合型の研修の意向が園長、教諭どちらも高かった。教諭の意向では、集合型とオンデマンドが同数であり、園長と教諭のオンデマンド研修に対する考えには、差があった。



(10) 外部講師を利用した活動の実施状況

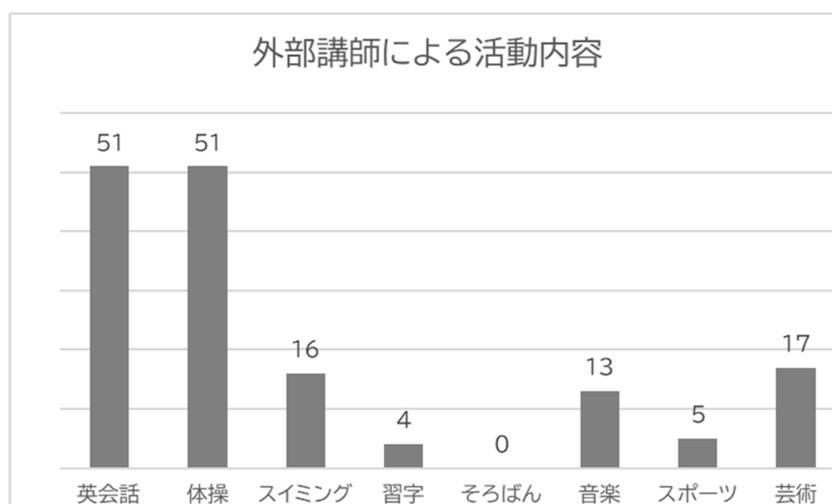
ほとんどの施設で外部講師を利用した活動(教室)を実施していた。



(11) 外部講師を利用した活動(教室)の内容

教室の内容については、「体操教室」と「英会話」同数で多かった。

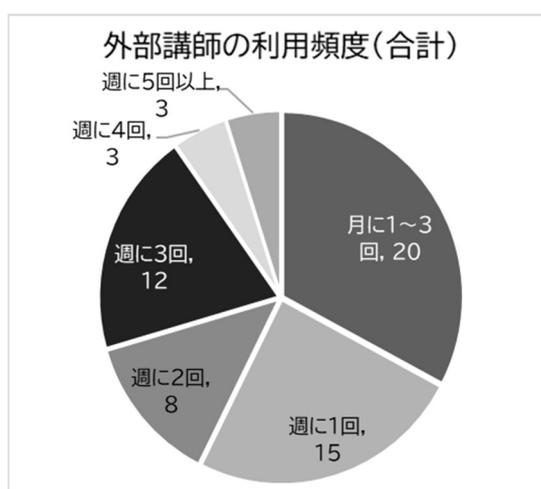
実施している教室数は、2~3種類が多かった。



(12) 外部講師を活用している頻度

外部講師を活用している頻度について、複数実施している園はその合計した頻度を聞いた。

園ごとに頻度はまちまちであったが、月に1~3回の頻度が最多であった。



【参考】幼児教育の質向上についてのご意見（自由記述）

○教員としての責任感を持たせ、教員同士のコミュニケーションをとり、チームワーク良く行動が出来る様に、園内での教員の資質向上を目的とした研修を行うなど、教員の意識改革が必要。教員の考え方が変化する事で、子どもへの指導の質も良い方向へ変わる。「無責任」ほど、子どもにとって悪影響はないと考える。

○幼児期には遊びや環境を通した保育が大切であるにも関わらず、様々な取り組みをしている園が多くある。保護者への支援（サービス）も必要な社会ではあるが、派手な取り組みをしている園だけでなく、目立たなくとも、本来子どもに必要な活動や保育者のあるべき姿を研修・研究している園にも支援していただきたい。また、社会にもっと幼児期に大切なことはなにかという認識を広めてほしい。

○近年の家庭教育の低下が園の教育、保育の質の低下に置き換えられている傾向もあるのでと思います。家庭、園共に学び合える政策、講演会などを望みます。

○教育保育の質の向上につきましては、園なりに日々の教育保育の振り返りを行い、園児のよりよい育ちになるよう努力はしていますが、外部の方からのご意見があるといい保育につきましては、保育教諭の自信にも繋がりますし、改善点などをご指摘をいただき教えていただけるとありがたいです。また、保育士配置人数につきましては、早急に改善していただきますようお願いいたします。国は、女性の雇用を進めていますが、その分、我が子との接する時間が短くなり、愛情不足による様々な言動が子どもたちに表れているように思います。教育、保育の質をハード面から高めることも大切ですが、子どもたちの精神的な安定などを大切にすることも必要と感じるため、園で保育教諭との関わりを多くすることで少しでも子どもたちの心の隙間を埋めるためにも保育士配置人数の変更を求めます。

○まずは園長・主任に最新の保育についての研修を受講させる。子ども達、先生達が楽しく過ごせる保育は何かを考えることができるような研修を受けたい。

○処遇対象の研修受講の傾向が強くないよう、幅広い研修を受講できる体制が望ましいと感じる。

○外部の研修は日々の保育を行う上で新たな情報や保育を見直すきっかけになるのでとてもありがたいと思う。さらに園へ直接訪問して幼児教育をアドバイスして頂けると園全体の質の向上につながると思うので、ぜひ実現してほしい。